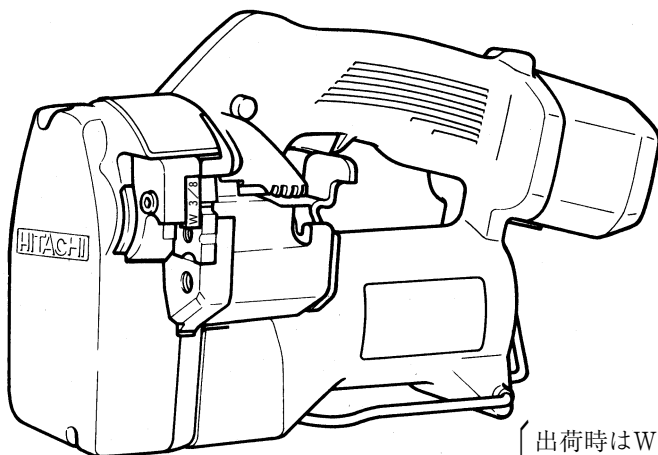
日立工機

日立コードレス全ねじカッタ

W 1/2　CL 13D

取扱説明書

このたびは日立コードレス全ねじカッタをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

（出荷時はＷ３/８カッタが本体装着してあります。）

目　次

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告：**誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意：**誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注：**製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池以外は，使用しないでください。
  破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は，定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
  異常に発熱し，火災の恐れがあります。
- 温度が０℃未満，あるいは温度が40℃以上では，蓄電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は，換気の良い場所で充電してください。蓄電池や充電器を，充電中布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は，さし込みプラグを電源から抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

釘袋などに入れると，短絡して，発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で，充電器のさし込みプラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体，充電器，蓄電池は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は，事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり，充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあり，事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠ 警　告

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は，加工するものが飛んで，けがの原因になります。

⑧ 次の場合は，工具本体のスイッチを切り，蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。
  工具本体が作動して，けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して，けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは，使用しないでください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

破裂したり，有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注　意

① 作業場は， いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外，工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
  けがの原因になります。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

③ 使用しない場合は，きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所，または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を，温度が５０℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。
  蓄電池劣化の原因になり，発煙，発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために，工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は，事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  発煙，発火の恐れがあります。

⚠ 注　意

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは，大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，着用しないでください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  すべりやすい手袋や履物は，けがの原因になります。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり，引っ掛けられたり，無理な力を受けて損傷することがないように，充電する場所に注意してください。
  感電や，ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。
  転倒して，けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
  損傷した刃物類を使用すると，けがの原因になります。
- 付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは，定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  感電や，ショートして発火する恐れがあります。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。感電や，ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態に保ち，油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
  付けたままでは，作動時に飛び出して，けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 注　意

⑫ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- コードレス工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など，十分注意して慎重に作業してください。
  軽率な行動をすると，事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。
  非常識な行動をすると，事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は，使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- さし込みプラグやコードが損傷した充電器や，落としたり，何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
  感電や，ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は，使用しないでください。異常動作して，けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は，専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は，工具本体・充電器・蓄電池を分解したり，修理・改造は行なわないでください。
  発火したり，異常動作して，けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり，異常に気付いたときは，点検・修理に出してください。
- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

Ni-Cd
ニカド電池は
リサイクルへ

ニカド電池はリサイクルへ！

本機に使用のニッケルカドミウム蓄電池（ニカド電池）はリサイクル可能な貴重な資源です。

蓄電池や製品の廃棄の際は，リサイクルにご協力いただき，最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにお持ち込みください。

コードレス全ねじカッタの使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが，コードレス全ねじカッタとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 注　意

① **スイッチを操作する際，カッタに指を近づけないでください。**
けがの原因になります。

② **カッタの点検，清掃，交換の際は，必ず蓄電池を本体からはずしてください。**
誤ってスイッチを入れてしまうと，けがの原因になります。

③ **高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。**
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

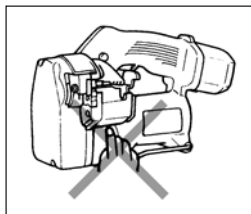
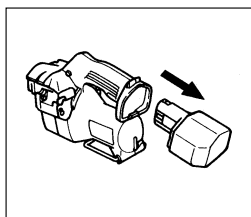
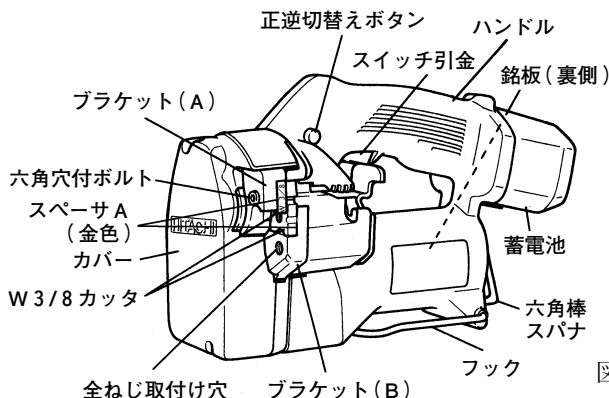
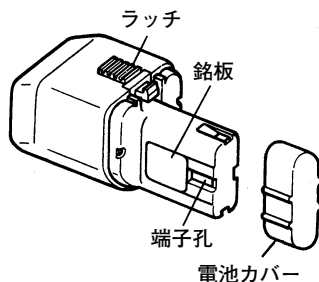
④ **本体を持ち運んだり，保管したり，作業を休止している際は，正逆切替えボタンを ロック の位置にしておいてください。**
ロック の位置にしておかないと，不用意にスイッチが入り，けがの原因になります。

①

②

各部の名称

1．本体（CL 13D）

図　1

2．充電器（UC 24 YJ）

※充電器別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。

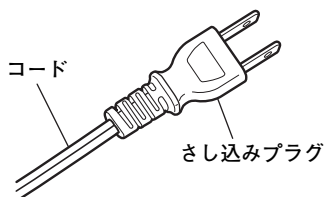
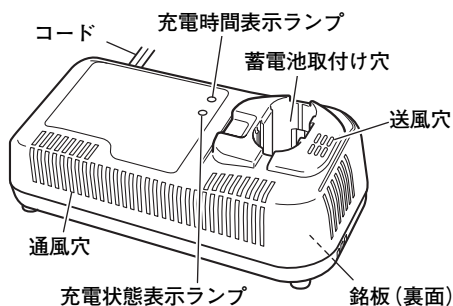



図　2

仕　　様

1．本体仕様（CL 13D）

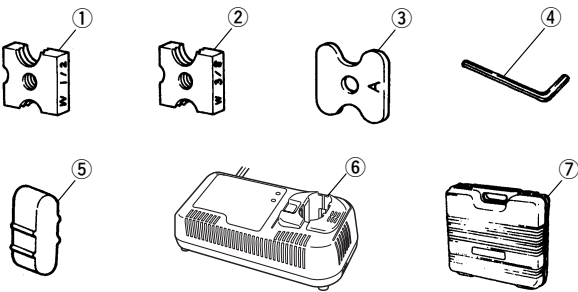
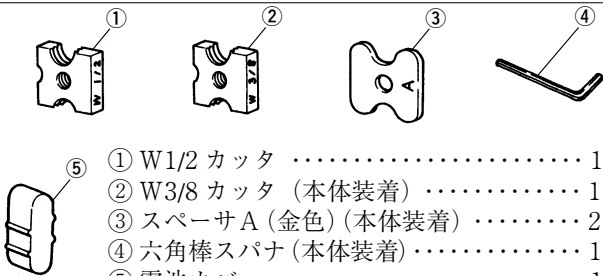
切断能力	W 3/8 軟鋼全ねじ
モーター	直流モーター
無負荷回転数（気温20℃満充電時）	0 ～ 25 min^{-1} ｛0 ～ 25 回／分｝
蓄電池（EB 12B）	円筒密閉形ニッケルカドミウム蓄電池 電圧 12 V
質量	4.2 kg

2．充電器仕様（UC 24 YJ）

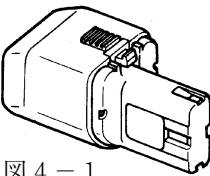
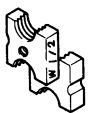
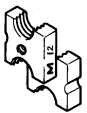
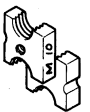
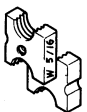
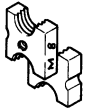
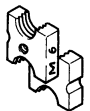
入力電源	単相交流　50／60 Hz　　共用 電　　圧　100 V
充電時間（気温 20 ℃時）	EB 12 B の場合…約 14 分 ｛詳しくは 13 ページをご参照ください。｝
充電電圧	7.2 － 9.6 － 12 － 14.4 － 18 － 24 V
充電電流	7.2 ～ 14.4 V：9 A, 18 V：7.5 A, 24 V：6 A
コード	2 心ビニールコード
質量	1.0 kg
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃

3．蓄電池仕様（別売部品を含む）

	EB 12 S	EB 12B	EB 12M
容量	1.2 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah
残量表示ランプ	なし	なし	付き

標準付属品

<table>
<tr><td>CL 13D (BCK)
充電器・ケース付</td><td>図３－１
① W1/2 カッタ ……………………… 1組
② W3/8 カッタ（本体装着）…………… 1組
③ スペーサＡ（金色）（本体装着）……… 2個
④ 六角棒スパナ（本体装着）…………… 1個
⑤ 電池カバー ………………………… 1個
（取りはずした蓄電池用）
⑥ 充電器（UC 24 YJ）……………… 1台
⑦ プラスチックケース ……………… 1個</td></tr>
<tr><td>CL 13D (BN)
充電器･ケース別売</td><td>① W1/2 カッタ ……………………… 1組
② W3/8 カッタ（本体装着）…………… 1組
③ スペーサＡ（金色）（本体装着）……… 2個
④ 六角棒スパナ（本体装着）…………… 1個
⑤ 電池カバー ………………………… 1個
（取りはずした蓄電池用）
図３－２</td></tr>
</table>

※ ③スペーサＡ（金色）はW1/2，M 12 以外のカッタ取付時の厚み調整用です。
※ プラスチックケースは，本体（CL 13D）・充電器のほかに，予備の蓄電池１個と小物（予備のカッタなど）が収納できます。

別 売 部 品

………………………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

1．蓄電池

○ 予備の蓄電池としてご用意されると便利です。

形　名	EB12S	EB12B	EB12M	EB 1230H
コードNo.	00306096	00310062	00310065	00318075

図４－１

2．カッタ

カッタ名	セット内容
W1/2 カッタ〔コードNo. 310262〕	
W3/8 カッタ〔コードNo. 998479〕	
W5/16 カッタ組〔コードNo. 308566〕	＋ W5/16スペーサ(黒色)

カッタ名	セット内容
M12 カッタ組〔コードNo. 318690〕	＋ M12 スペーサ(黒色)
M10 カッタ組〔コードNo. 308565〕	＋ M10スペーサ(黒色)
M8 カッタ組〔コードNo. 308564〕	＋ M8スペーサ(黒色)
M6 カッタ組〔コードNo. 308563〕	＋ M6スペーサ(黒色)

注）W1/2，M 12 以外のカッタを本体へ装着するときは，標準付属品のスペーサA (金色) を使用します。詳しくは 15・16 ページをご参照ください。

3．トリマー

図 4−2

○ W3/8 ステンレス全ねじおよびW5/16・M6・M8・M10軟鋼全ねじを切断した後のバリ取り用としてご用意されると便利です。

サイズ	コードNo.	サイズ	コードNo.
M6	308568	W5/16	321153
M8	308569	W3/8	308567
M10	308570		

用　　途

○ 下記サイズの全ねじの切断

サイズ ＼ 材質	軟鋼	ステンレス
W1/2 (通称4分全ねじ)	○	×
W3/8 (通称3分全ねじ)	○	○
W5/16 (通称2分5厘全ねじ)	○	×
M12	○	×
M10	○	×
M8	○	×
M6	○	×

注 • 指定の全ねじ以外の切断には使用しないでください。
黄銅やW3/8以外のステンレスねじに使用すると，ねじ山が変形し，ナットが入りません。
また，W1/2ステンレス全ねじ，M12ステンレス全ねじ，焼入れボルト，異なるサイズの全ねじ，鉄筋などを切断すると，本体を破損する場合がありますので，使用しないでください。

蓄電池の取りはずし方・取付け方

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

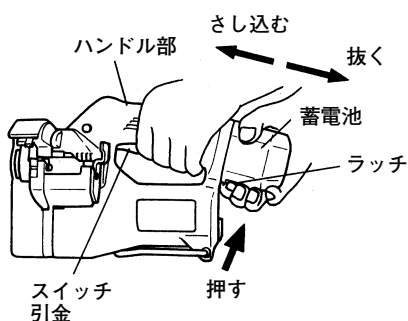



図　5

1．蓄電池の取りはずし方………
本体をしっかり支え，蓄電池前部のラッチを押しながら，抜くと取りはずせます。（図5）

2．蓄電池の取付け方………
ラッチがハンドル部のスイッチ引金側にくるよう蓄電池の取付け方向に注意し，蓄電池をさし込みます。（図5）

充電方法

⚠ 警　告

• 充電器は，必ず定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また，昇圧器などのトランス類も使用しないでください。異常に発熱し，火災の恐れがあります。

⚠ 注　意

• さし込みプラグを電源にさし込む前に，さし込みプラグやコードに損傷がないことを確認してください。損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

1．充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込む

充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込みますと、充電状態表示ランプが赤の点滅（周期１秒）を繰り返します。

2．蓄電池を充電器に取付ける

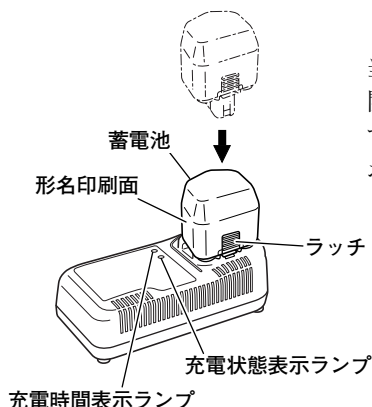



図　6

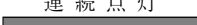
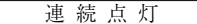
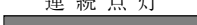
蓄電池を図６に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込みますと充電を開始し、充電時間表示ランプが赤/橙/緑のいずれかに連続点灯して充電完了までの時間をお知らせします。

3．充電する

(1) ランプの表示について

この充電器は充電時間の目安を表示する充電時間表示ランプと充電状態を表示する充電状態表示ランプがついてます。

(a)充電時間の表示について

充電を開始し、充電時間表示ランプが赤に連続点灯すると約３０分、橙に連続点灯すると約２０分、緑に連続点灯すると約５分で充電が完了します。充電が完了すると充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と約６秒鳴ります。

(b)高温待機の表示について

蓄電池の温度が高くなっていると充電を開始しません。この場合は、充電時間表示ランプが赤の点滅（周期0.6秒）を繰り返しますので、そのまま充電器にさし込んでおいてください。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。

(c)充電不可の表示について

充電器または蓄電池に異常があるときは、充電状態表示ランプが橙の速い点滅（周期0.2秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約５秒鳴ります。

表１　**ランプの表示**

ランプの表示				表示内容
充電時間 表示ランプ （赤/橙/緑）	充電時間30分	赤点灯	連続点灯	充電完了まで約３０分
	充電時間20分	橙点灯	連続点灯	充電完了まで約２０分
	充電時間　5分	緑点灯	連続点灯	充電完了まで約　5分
	高温待機	赤点滅	０．３秒点灯／０．３秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できない。 （温度が下がると自動的に充電を開始します。）
充電状態 表示ランプ （赤/橙/緑）	充電前	赤点滅	０．５秒点灯／０．５秒消灯	電源にさし込んだ状態
	充電完了	緑点灯	連続点灯	
	充電不可	橙の速い点滅	０．１秒点灯／０．１秒消灯	充電器または蓄電池に異常あり

（2）充電時間について

表２　**充電時間（気温２０℃）**

蓄電池＼充電器	ＵＣ２４ＹＪ
ＥＢ１２Ｓ	約９分
ＥＢ１２Ｂ,ＥＢ１２Ｍ	約１４分

それぞれの蓄電池の充電時間は表２のようになります。

４．充電器のさし込みプラグを電源コンセントから抜く

コードを引っ張らず、さし込みプラグを持って抜きます。

５．蓄電池を充電器から抜く

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。
これで充電完了です。

６．蓄電池の活性化（トリクル充電）について

新品または長期間使用しなかった蓄電池は、内部の化学物質が不活性（ねぼけ）になっているため、満充電にならないことがあります。このようなときは、充電完了後も約８～１２時間蓄電池をさし込んだままにしてください。自動的にトリクル充電をおこない蓄電池が活性化されます。

７．蓄電池を長持ちさせるコツ

（1）蓄電池が空（から）になる前に充電する

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

（2）高温時の充電は避ける

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

注
- **さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。**
  そのまま使用すると、火災の恐れがあります。
- **充電するときは、蓄電池の形名印刷面が左側（ランプ側）を向くようにさし込んでください。**
  逆向きにさし込むと、充電できないばかりでなく、充電端子が変形して充電器故障の原因になります。
- **充電状態表示ランプが橙の速い点滅（周期０．２秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約５秒鳴るときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。**
  異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **蓄電池をさし込んでも、充電時間表示ランプが連続点灯または点滅しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、確かめてください。**
- **蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が熱をもっている場合には、充電時間表示ランプが赤の点滅をして、すぐに充電を開始しないことがあります。このようなときは、蓄電池を充電器にさし込んだままにしてください。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。**
- **充電中にランプが消灯したときは、修理に出される前にさし込みプラグを電源コンセントから抜き、３～５分以上待ってから再度さし込んでください。**
- **充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。**
- **充電時間の表示は周囲温度や蓄電池の状態により誤差がでることがありますので、目安としてお使いください。**
- **一度充電が完了した後、次の充電まで５分程度休ませてください。**
  同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- **使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。**
- **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。**
  寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
- **使用不能の蓄電池は廃棄せずに、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。**

ご使用前に

1．作業環境の整備・確認………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

2．蓄電池の取付けの確認………

⚠ 注　意

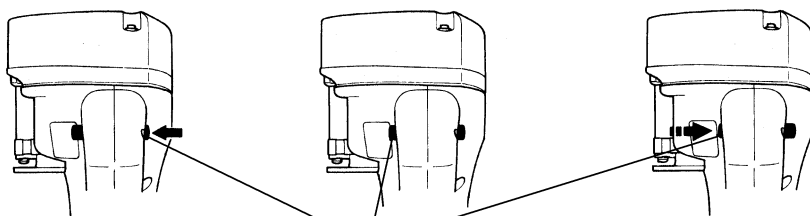
- **蓄電池は確実に取付けてください。確実でないと，蓄電池が抜け落ちて，けがの原因になります。**

3．正逆切替えボタンのセット………

⑴ 図7－(イ)のように正逆切替えボタンを右から押し込み，切断の位置にすると切断可能になります。

⑵ 図7－(ロ)のように正逆切替えボタンをロックの位置（中央）にしますと，スイッチ引金を引いてもモーターは回転しません。運搬や保管，作業を休止している際は，正逆切替えボタンをロックの位置にしてください。

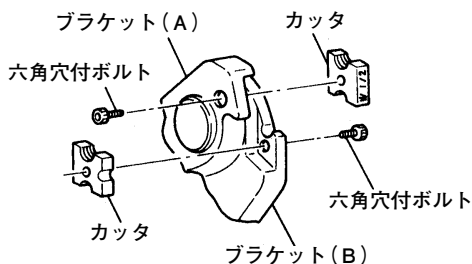
⑶ 図7－(ハ)のように正逆切替えボタンを左から押し込み，開放の位置にし，そのまま押しながらスイッチ引金をゆっくり引くと，カッタが全ねじからはずれます。蓄電池が消耗して切断途中で動かなくなったときだけ，この位置にしてください。カッタが全ねじからはずれたら，すぐにスイッチを切ります。

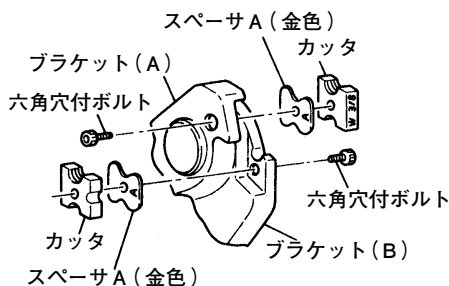
指をはなすと正逆切替えボタンは自動的にロックの位置に戻ります。

〔ハンドル側から見た図〕

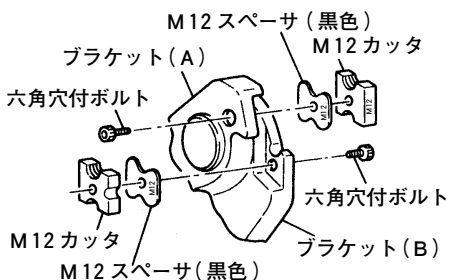
切断作業時（切断）	回転しない（ロック）	切断途中でのはずし（開放）
図7－(イ)	図7－(ロ)	図7－(ハ)

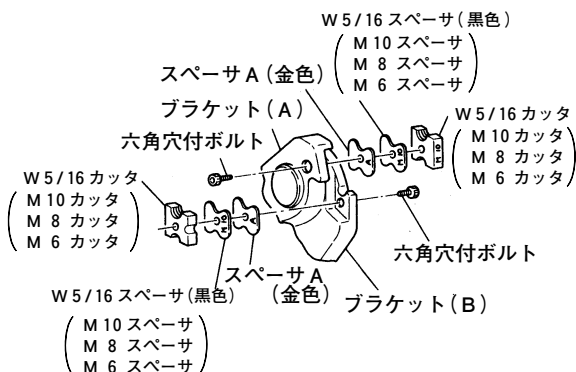
注
- **開放の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり，切断できません。また，本体に無理な力が作用し，破損する場合がありますので，開放の位置では切断しないでください。**

4．カッタとスペーサの取付け方………

W1/2カッタの場合　………　スペーサA（金色）は使用しません。

左図のように，カッタをブラケット（A）とブラケット（B）に正しく取付け，六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

W3/8カッタの場合

左図のように，付属の厚み調整用のスペーサA（金色）をブラケット（A）とカッタの間，ブラケット（B）とカッタの間に正しくはさみ込み，六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

M12カッタ（別売部品）の場合　………スペーサA（金色）は使用しません。

左図のように，M12カッタにセットの専用のM12スペーサ（黒色）をブラケット（A）とカッタの間，ブラケット（B）とカッタの間に正しくはさみ込み，六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

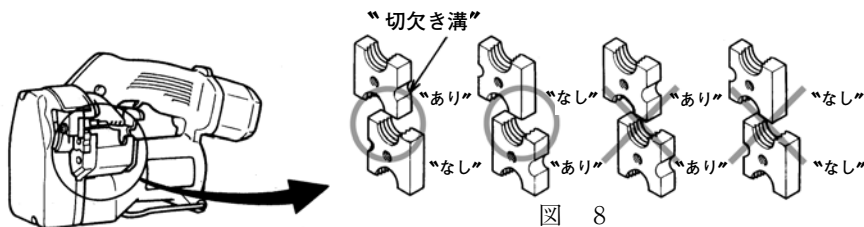
W5/16，M10，M8，M6カッタ(別売部品)の場合

たとえば，W5/16カッタをご使用の場合，標準付属品のスペーサA(金色)をW5/16カッタにセットの専用のW5/16スペーサ(黒色)の両方をブラケット(A)とカッタの間，ブラケット(B)とカッタの間に正しくはさみ込み，六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

注
- **W5/16，M12，M10，M8，M6の各カッタとスペーサ(黒色)はサイズごとにセットです。スペーサA(金色)は共通です。**
- **スペーサ(黒色)やスペーサA(金色)を付けずに使用したり，異なるサイズのスペーサ(黒色)やカッタを付けて使用すると，ねじ山が正しくかみ合わず，全ねじやカッタの刃部を破損しますので，必ず正しく取付けてください。**

5．カッタの取付方向，取付ボルトを確かめる………

⑴ カッタの取付けには方向性があります。図8に示すように，本体の正面から見てカッタ側面の切欠き溝が〝あり〟と〝なし〟の関係になっていることを確かめてください。

図8の切欠き溝が〝あり〟と〝あり〟または〝なし〟と〝なし〟の組み合わせになっていますと，全ねじのねじ山(ピッチ)とカッタのピッチが一致しないため，カッタの刃部が破損したり，本体の早期故障につながりますので注意してください。

図 8

⑵ カッタを取付けている六角穴付ボルト(図1参照)がしっかりと締付けられていることを念のため，付属の六角棒スパナで確かめてください。

ゆるんだ状態でご使用になりますと本体のカッタの破損をまねくことがあります。

使　い　方

⚠ 警　告

- **スイッチ操作時は，絶対にカッタに指を近づけないでください。**
- **短い全ねじを切断するときなど，本体のガード部(図10参照)と全ねじのスキマに指をはさまないように注意してください。**

1．通常の切断方法………

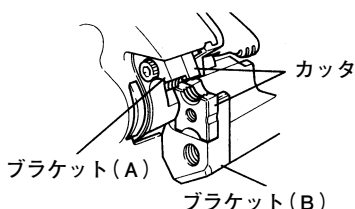



図　9

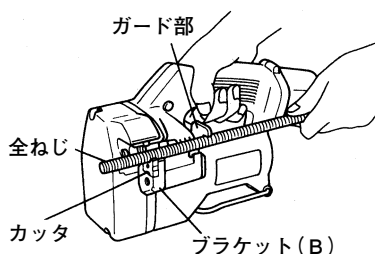



図　10

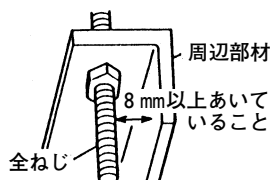
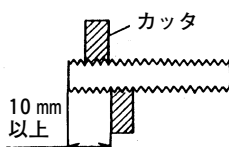
(1) スイッチ引金を軽く引いて，ブラケット(A)を動かし，図9に示すようにカッタが開いた状態で停止させます。
（スイッチは変速スイッチですので，スイッチ引金を軽く引くとブラケット(A)はゆっくり動きます。)

(2) 図10のように，切断する全ねじをブラケット(B)側のカッタに，ねじ山が正しくかみ合うようにセットします。

注 **・全ねじとカッタのねじ山が正しくかみ合っているのを確認してから切断してください。かみ合わない状態で切断すると，全ねじやカッタを損傷します。**

(3) スイッチ引金をいっぱいに引いて全ねじを切断します。

(4) 切断後，ブラケット(A)が上方に上がりきったときスイッチを切りますと，カッタが開いた状態で停止し，次の作業がしやすくなります。

注 **・全ねじを10㎜以下の短い長さに切断すると，全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり，カッタの損傷につながります。10㎜以上の長さで切断してください。**
・狭い箇所に固定された全ねじを切断するときは，全ねじと周辺部材との間が8㎜以上離れていることを確認してください。
8㎜以下ですと，カッタが周辺部材に当たり，カッタや本体を損傷します。

2．切り口の後仕上げについて………

Ｗ1/2 軟鋼全ねじやＭ12 軟鋼全ねじ，Ｗ3/8 ステンレス全ねじは，全ねじやナットの寸法の差により，切欠き溝のあるカッタ側の切り口に（図11），ナットが入りにくい場合があります。この際には切り口のヒゲ状のバリをヤスリなどで取ってください。（図12－1）

また，ステンレスのように削り難い場合には，全ねじをプライヤーで固定し，トリマー（別売部品）で取ってください。（図12－2）

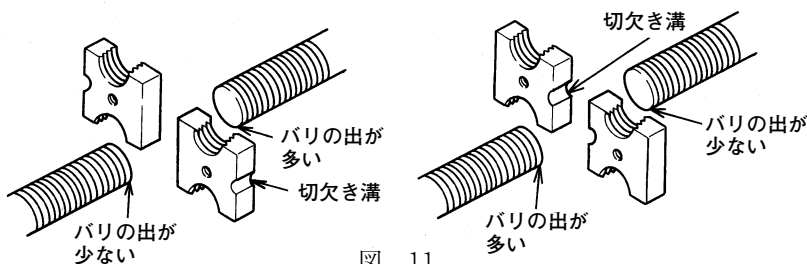



図　11

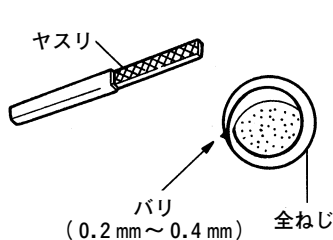



図12 － 1

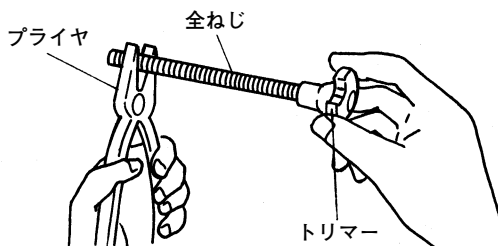



図12 － 2

3．切断回数（1充電当たり）………

1充電当たりの切断回数は，下表を参考にしてください。

全 ね じ	切 断 回 数
W1/2 軟鋼全ねじ	約 180 回
W3/8 軟鋼全ねじ	約 350 回
W3/8 ステンレス全ねじ	約 290 回
W5/16 軟鋼全ねじ	約 470 回
M12 軟鋼全ねじ	約 190 回
M10 軟鋼全ねじ	約 320 回
Ｍ 8 軟鋼全ねじ	約 470 回
Ｍ 6 軟鋼全ねじ	約 700 回

（蓄電池EB12B使用の場合）

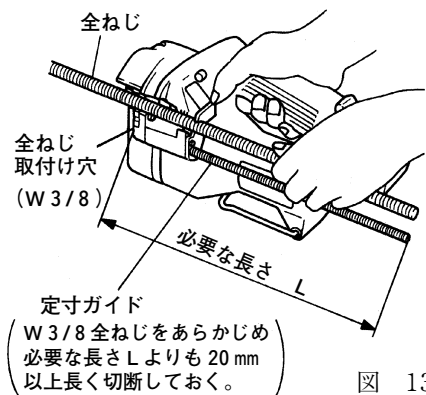
なお切断回数は，周囲温度，蓄電池特性，カッタの状態などにより多少異なります。

注

- **満充電の蓄電池を２本以上連続して使用すると，モーターが焼損する恐れがあります。
２本以上連続して使う場合は，本体を休ませて冷ましながら使用してください。**

4．定寸長さの切断方法………

同じ長さの全ねじを数多く切断する場合には，次のようにご使用になりますと，能率よく切断できます。

図　13

⑴　あらかじめ，W3/8 全ねじを必要な長さより 20 ㎜以上長く全ねじを 1 本切断し，これを定寸ガイドとして使用します。

⑵　定寸ガイドの全ねじを本体のブラケット（B）に設けられた全ねじ取付け穴にねじ込みます。（図13）
この際，定寸ガイドの全ねじの端部とカッタとの距離が必要な長さLになるように調整してください。

⑶　切断しようとする全ねじを，定寸ガイドの全ねじと端をそろえてカッタにセットし，切断します。

注　• **全ねじ取付け穴のねじサイズはW 3/8 ですので，定寸ガイドとして使う全ねじはW 3/8 をご用意ください。**

5．固定された全ねじの切断方法………

天井から吊下げられた全ねじや，壁や床に固定された全ねじを切断する場合，全ねじをカッタにセットする際に，全ねじとカッタのねじ山のかみ合わせが不安定になります。

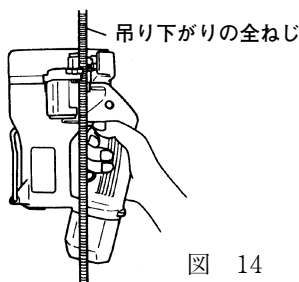



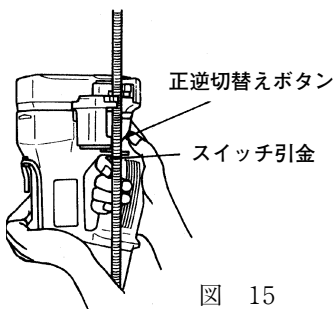
図　14

このような場合には，全ねじをカッタにセットした後，スイッチ引金を軽く引いて低速でカッタを閉じ，図14 のように，全ねじと上下両方のカッタを完全にかみ合わせます。

そしてスイッチ引金をいっぱいに引いて全ねじを切断します。

6．切断途中での全ねじのはずし方………

図　15

⚠　警　告

• **吊下がりの全ねじをはずすときは，万一の落下防止のため，本体は両手で保持してください。**

切断途中で蓄電池が消耗し，モーターの回転が停止したときは，正逆切替えボタンを **開放** 側へ押し込みながらスイッチ引金を引くと，モーターが逆回転し，全ねじをカッタからはずすことができます。（図15）

注 • カッタが全ねじからはずれたら，すぐにスイッチを切ってください。スイッチを入れたままにすると，再びカッタが全ねじに食いついてしまいます。

7．フックの使い方………

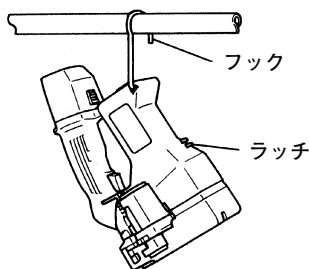



図 16

⚠ 注　意
• このフックは人体への吊下げ用ではありません。 ベルトやズボンなど人体への吊下げは，けがの原因になりますので，しないでください。 • 通常使用されるとき，または保管するときには，フックは本体底部のラッチに収納しておいてください。

作業中に本体を一時的に置くとき，フックを利用されると便利です。(図16)

カッタの寿命と交換方法

1．カッタの寿命………

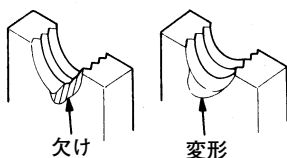
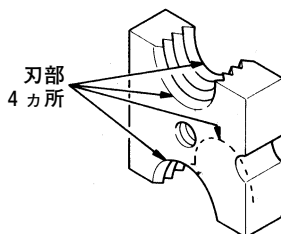
図 17

カッタは全ねじの切断の繰り返しにより図17に示すように，刃部に〝欠け〟や〝変形〟を生じてきます。そのままご使用をつづけますと，全ねじの切断部に〝バリ〟が生じたり，ねじ山が変形したりしてきれいに切断できず，ナットが入らなくなります。

図 18

カッタには図18に示すように刃部が4ヵ所ついていますので下記に示す方法でカッタの取付け向きを替えることにより，4回使用できます。

刃部の欠けや変形によってナットが全ねじに入らない場合は，欠けや変形のない刃部を使用するようカッタの取付け向きを替えるか，または新しいカッタと交換してください。

2．カッタの取付け向き替え・交換の方法………

図　19

(1) 取りはずし前に………

① スイッチを軽く引き，ブラケット(A)をゆっくり動作させ，カッタが開いた状態にします。

② 正逆切替えボタンを **ロック** の位置にします。

③ 蓄電池を本体からはずします。

(2) 取りはずし………

付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトをはずしますと，カッタが取りはずせます。

図　20

図　21

(3) 取付け前に………

① カッタには，刃部が4ヵ所ありますので図20のように刃部の位置を替えれば4回ご使用いただけます。

② 刃部の位置を替える際は，カッタ同士の位置関係がありますので，本体の正面から見て，図21のようにカッタ側面の切欠き溝を〝あり〞と〝なし〞の関係にします。

③ カッタの刃部に欠けや変形が生じ，カッタの取付面にふくらみがある場合は，ヤスリなどで平らにします。

④ ブラケットのカッタ取付溝内に付着している切粉をブラシなどで取り除きます。

(4) 取付け………

① カッタとスペーサを，15ページの「4．カッタとスペーサの取付け方」の項を参照の上，ブラケットのカッタ取付溝内に入れ，六角穴付ボルトで固定します。

② 六角穴付ボルトは，六角棒スパナで十分締付けてください。

図　22

注

- **図22のようにカッタの切欠き溝の〝あり〞と〝あり〞，または〝なし〞と〝なし〞の組み合わせにしますと，全ねじのねじ山（ピッチ）とカッタのピッチが一致しないため，カッタの刃部が破損したり，本体の早期故障につながります。**

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，蓄電池を本体から抜いておいてください。また充電器は，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．使用後の手入れ………

使用後は，特に刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

2．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．表面のよごれ清掃………

本機の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か，または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤や，ガソリン，シンナー類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

4．作業後の保管………

使用後は気温 50 ℃以下でお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

ご修理のときは

この工具本体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。また，蓄電池が使用不能の状態となり，廃棄処分される場合は，お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※　（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟）
☎(03) 5783-0626(代)

北海道支店　〒060-0003　札幌市中央区北三条西四丁目1番地1（日本生命札幌ビル）
☎(011) 271-4751(代)

東北支店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号
☎(022) 288-8676(代)

関東支店　〒110-0016　台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
☎(03) 5812-6331(代)

中部支店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）
☎(052) 262-3811(代)

北陸支店　〒920-0058　金沢市示野中野一丁目163番
☎(076) 263-4311(代)

関西支店　〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）
☎(06) 4796-8451(代)

中国支店　〒730-0011　広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）
☎(082) 228-0537(代)

四国支店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号
☎(087) 863-6761(代)

九州支店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号
☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前8：50～午後5：20）

日立工機株式会社

809
部品コード　C99117702　N